

パブリックコメント「第9次豊田市総合計画（案）」における 意見募集結果の公表

●意見通数

213通（うち、Eモニター 187通）

●意見の内訳

総数で284件の意見等があり、項目ごとに分類しました。

分類		意見件数
計画全体について		31件
ミライ構想について		10件
ミライ実現戦略 2030について	取組目標① こどもが多様な生き方・暮らし方を選択できる	31件
	取組目標② 誰もがつながり合いの中で安心して自分らしく暮らすことができる	25件
	取組目標③ 産業中枢都市として深化続ける	8件
	取組目標④ 将来を展望した都市環境の形成を進める	33件
	取組目標⑤ 脱炭素社会の実現に挑戦する	2件
その他		7件
感想等（Eモニターの選択式アンケートのみの回答者を含む）		137件

●寄せられた意見に対する豊田市の考え方

※意見等の概要は、主旨を損なわない範囲でいただいた意見を集約及び要約しています。
また、感想等を除く意見に対して、市の考え方を示しています。

●その他

- ・本計画は、提出いただいたご意見を参考に、令和7年3月までにまとめる予定です。
- ・本計画は、国が進めるまち・ひと・しごと創生に関する「豊田市デジタル田園都市国家構想総合戦略」と一体的に策定します。

(1) 計画全体について

意見等の概要	意見数	豊田市の考え方
「ミライ」をカタカナで表現する必要はない。	1	現状の延長線上の将来を受け入れるのではなく、自らの行動で新しい将来を築き上げるという意味を込め、漢字の「未来」ではなく、片仮名で「ミライ」と表現しています。 図書の注釈において意図を伝えるなど、「ミライ」の意味を市民の皆様と共有できるようにしていきたいと考えています。
人口減少対策や生産年齢人口に対する取組がわかりにくい。	2	こどもや若年層を始め人々にとって、住みたい、住み続けたい、関わりたいと思える魅力的なまちであることが重要と考えており、本市の強みを生かしながら、ニーズに合わせた魅力あるまちづくりを進めていきます。 単身者や結婚期を迎える若者、子育て世帯に対する居住の支援や、結婚・出産・子育てに関わる各種支援、相談サポート、デジタルを活用した子育て負担の軽減など、様々な取組を進めていきます。
地域の特性を生かしてまちづくりを進めてほしい。	1	人口減少社会においても持続可能なまちを目指して、チェンジ・チャレンジ（変化を受容し挑戦する）思考で本市の多様な地域性を生かし、まちの総合力を高めていきます。
計画を具体的にどのように推進していくのか。	4	第9次豊田市総合計画は、変化が激しい予測困難な社会の中での推進となるため、総合計画を「まちづくりの羅針盤」と位置付け、ミライ構想の実現に向けた取組目標を掲げ、その施策は常に見直す柔軟性のある計画としています。 計画の進行管理については、指標の推移、施策を取り巻く社会環境の変化、施策の進捗状況などを踏まえ、施策立案時の前提や仮説の妥当性を毎年度ローリングにより確認し、施策・事業の見直しや新規立案を行います。

意見等の概要	意見数	豊田市の考え方
市民が自分ごととして捉えられるように、具体的に計画を周知してほしい。	1 1	計画の周知については、コンセプトブックを制作するなど読みやすく、自分ごととして捉えられるよう工夫をしていきます。また、図書以外にも動画など様々な媒体を活用しながら、まちづくりの方向性について、市民の皆様と共有を図ります。
幅広い市民の声を聞いて計画を策定してほしい。	1 0	計画の策定に当たっては、市民とともに計画策定を進めたいという考えのもと、地域会議での諮問答申のほか、市内の大学及び高等専門学校に通う学生と市長との意見交換、子育て世代を中心としたまちづくりミーティングや計画案に対する意見を聞く中間報告会、各種団体やこども会議、外国人の方との意見交換など幅広く市民の意見をお聞きしながら策定をしています。
計画策定に当たり、現状の調査・分析が不十分に感じる。	1	計画の策定に当たっては、中長期的な人口減少社会・少子化・人生 100 年時代の進展や、価値観・ライフスタイルの多様化の進展といった「ひと」の視点と、産業構造の大転換の可能性・カーボンニュートラルの要請や、デジタルトランスフォーメーション (DX) の加速化、生成 AI 等の技術革新の進展、リニア中央新幹線の開業などといった「ひとを支える基盤 (まち)」の視点で、本市を取り巻く環境変化と課題をまとめています。
「普通建設事業費 300 億円以上」を止め、ハードからソフトの教育、福祉、若者対策重視に転換する必要がある。	1	「ミライ実現戦略 2030」に資する事業など、優先的・重点的に取り組む事業や、既に着手済みで早期に効果発現が期待される事業を中心に計画的に推進していきます。 なお、子育て支援や社会保障など、市民の皆様が安心して暮らしていくために必要な取組については、引き続き適切かつ着実に実行していきます。

(2) ミライ構想について

意見等の概要	意見数	豊田市の考え方
人と人のつながりの中で、あらゆる垣根を越えて支えたり支えられたりすることで、幸せを感じられるまちにしたい。	4	一人ひとりが「生きがいや自分らしさ」を大切にしながら、心豊かに暮らすためには、多様な「つながり」が重要と考えています。 また、「人と人」、「世代と世代」、「人と地域、自然」がつながり合いの中で、支援する側・される側という関係性ではなく、誰もが相互に学び合い、主役として活躍できる新たな関係性を生み出すことが大切と考えています。 全ての人がつながり合いの中で安心して自分らしく暮らすことができる社会を目指し、取組を進めていきます。
こどもから大人まで誰もが学び合えるまちになってほしい。	1	多様な「つながり」を通じた「学び合い」により、多様な価値や可能性をつくり出し、暮らしを楽しむことができるまちを目指します。
将来都市構造における新たな視点・取組の方針は、より強調して表現してほしい。	4	図書に掲載する将来都市構造イメージにおいて、土地利用の基本的な考え方を示す「ゾーン」、機能や居住を集積・維持する「拠点」とそれらをつなぐ「ネットワーク」のほか、新たに設定する産業や居住を重点的に誘導する「エリア」について、分かりやすいものになるよう修正していきます。
市街地や集落が点在する豊田市の地域特性を踏まえ、多核分散の自立型都市構造を目指してほしい。	1	人口が集中する都市部と集落が点在する山村部の地域特性を踏まえて、暮らしに必要な機能や居住等をコンパクトに集積・維持する地域を「拠点」と位置付けます。拠点間の連携を図るため、道路や鉄道等の「ネットワーク」の強化を進めることで、拠点相互がより緊密につながり合い、都市部・山村部それぞれの地域の価値を高め合う「拠点連携型都市」を目指します。

(3) ミライ実現戦略 2030 について

取組目標① こどもが多様な生き方・暮らし方を選択できる

意見等の概要	意見数	豊田市の考え方
地域資源を生かしたこどもの「遊び・学び・体験」の機会や場を充実させるとともに、その情報が市民に行き届くようにしてほしい。	5	施策「地域資源を生かした「遊び・学び・体験」の機会の充実」において、こどもたちが地域の中で歴史・文化・芸術、スポーツ、ものづくりなど、充実した「遊び・学び・体験」を自ら選択し、自己肯定感を高めることができる環境づくりに向け、取組を進めていきます。 また、施策「テーマやターゲットに応じた戦略的な情報の発信」において、必要な人が必要な時に必要な情報を得られるよう情報発信に取り組みます。
こどもの遊び場や居場所づくりに取り組んでほしい。	3	全てのこどもが自分らしく過ごせるよう、地域社会のつながりの中で、学びの場など、こどもの思いにあった居場所をつくり、地域でこどもを育てていくことが重要と考えています。 施策「地域資源を生かした「遊び・学び・体験」の機会の充実」や、施策「配慮が必要なこどもへの支援」等において、まち全体でこどもの成長を支えられるよう、取組を進めていきます。
小中高一貫教育など高校教育も視野に入れた特色ある教育に取り組んでほしい。	1	地域に開かれた学校教育を目指すとともに、本市ならではの特色ある学びを提供する必要があると考えており、施策「多様な学びに対応した最適な教育環境づくり」において、こどもたちが生き抜く力を身に付けられるよう、小中一貫教育など新たな教育環境についても検討し、最適な教育の環境づくりに向け、取組を進めていきます。 また、施策「自ら考え判断する力を育む教育の推進」において、こどもたちが、多様で先進的な学びやキャリア教育を受けられる機会を増やせるよう、新しい学びの在り方を検討していきます。

意見等の概要	意見数	豊田市の考え方
少人数学級やインクルーシブ教育を進めるとともに、適切な数の教職員を確保してほしい。	5	施策「多様な学びに対応した最適な教育環境づくり」において、本市独自の少人数学級を進めるとともに、施策「配慮が必要なこどもへの支援」において、特別な配慮を必要とするこどもやその家庭に対し、教育・福祉等多分野との連携を深め、インクルーシブな社会を実現するための必要な支援をしていきます。また、これらの取組を進めるために、引き続き教員確保に取り組めます。
図書館の分館を設置するなど、こどもが本に触れられるような環境をつくってほしい。	4	施策「地域資源を生かした「遊び・学び・体験」の機会の充実」や「自ら考え判断する力を育む教育の推進」において、こどもたちが、探究学習などの取組を通じて自ら課題設定を行い、主体的・探究的に取り組む学びの機会を増やすとともに、こどもたちが本に触れる環境づくりについて検討を進めていきます。
こどもや若者が住みたいと思えるような魅力あるまちづくりを進めるとともに、地域資源をいかした豊田市ならではの魅力を市内外問わず幅広く情報発信してほしい。	3	こどもや若年層を始め人々にとって住みたい、住み続けたい、関わりたいと思える魅力的なまちであることが重要と考えており、本市の強みを生かしながら、ニーズに合わせた魅力あるまちづくりを進めていきます。 また、施策「テーマやターゲットに応じた戦略的な情報の発信」において、多様な地域資源を有する豊田市ならではの魅力について戦略的な情報発信に取り組めます。

意見等の概要	意見数	豊田市の考え方
FIA 世界ラリー選手権開催にかかる費用を子育て支援や社会保障費等に活用してほしい。	9	子育て支援や社会保障など、市民の皆様が安心して暮らしていくために必要な取組については、引き続き適切かつ着実に実行していきます。 なお、FIA 世界ラリー選手権の開催は、将来にわたって都市活力を持続するため、自動車産業を軸とした産業の活性化において非常に重要であると考えています。産業を支えることは、将来に渡る税収の確保にもつながり、「ミライへの投資」とであると捉えています。
様々のイベント等が開催されているが、情報が伝わっていない。特に若い世代に対して市政情報が伝わるようにしてほしい。	1	施策「テーマやターゲットに応じた戦略的な情報の発信」において、必要な人が必要な時に必要な情報を得られるよう情報発信に取り組みます。

取組目標② 誰もがつながり合いの中で安心して自分らしく暮らすことができる

意見等の概要	意見数	豊田市の考え方
少子化の進行に歯止めをかけるため、誰もが安心してこどもを産み育てられる環境づくりに取り組んでほしい。	10	ミライを担う世代が自らの将来の暮らしに希望を持つことができ、こどもを生み育てやすいまちづくりを進めることが喫緊の課題と捉えており、誰もが、暮らしたい・働きたいと思えるまちをつくる必要があります。 また、家族の在り方が多様化している中で、自分の望む家族の在り方を実現できる環境づくりが必要であり、施策「結婚・出産・子育て支援の充実」や「保育ニーズへの対応と良好な幼児教育・保育環境づくり」において、希望する誰もが結婚や出産等の選択ができるような支援や、多様化する働き方・暮らし方のニーズを捉えた、保育環境の充実等に取り組めます。

意見等の概要	意見数	豊田市の考え方
結婚や出産に対する不安を軽減できるよう、結婚・出産を迎える前から育児を学べる環境づくりに取り組んでほしい。	2	施策「結婚・出産・子育て支援の充実」において、若年層に向けたライフデザインの形成を支援する取組などを検討するほか、結婚を含むそれぞれのライフステージに応じた支援や更なる子育て支援、子育ての不安解消等を通して、希望する誰もが安心して結婚や妊娠、出産、育児ができる環境づくりに向けて取り組みます。
保育士の確保や一時預かり制度の充実など、保護者の負担軽減につながるよう保育環境を充実させてほしい。	4	施策「保育ニーズへの対応と良好な幼児教育・保育環境づくり」において、こどもや希望する家庭が安心して子育てできるよう、多様化する働き方・暮らし方のニーズを捉えた、保育環境の充実等に取り組めます。
こどもが学校に行けなくなってしまった時に受け入れてもらえる場所や相談できる環境があるとよい。	4	施策「配慮が必要なこどもへの支援」において、教育・福祉等の多分野で連携した切れ目のない支援等を通じて、配慮が必要なこどもや家庭に対し、つながり合いの中で安心して暮らすことができるような環境づくりに向けて取り組みます。
外国人の増加に配慮した地域コミュニティづくりを進める必要がある。	2	施策「多様でゆるやかな「つながり合い」創出の促進」において、国籍・性別・年齢・障がいの有無等に関わらず、誰もが自分らしく暮らせるような環境づくりに向けて取り組みます。
高齢化に伴い、地域で活動する地縁組織の維持が懸念される。地域格差が生じないよう、地域で活動する人材の意識改革や活動を支援する事務局員の配置などに取り組んでほしい。	3	施策「地域活動の持続可能性の向上」において、地域活動の再構築や地域で活躍する次世代の人材の確保・育成、DX を活用した自治体業務の再編などを始め、地域活動への伴走支援などに取り組めます。

取組目標③ 産業中枢都市として深化続ける

意見等の概要	意見数	豊田市の考え方
製造業だけでなく、新たな産業創出に取り組んでほしい。	3	施策「ミライを支える産業の創出と育成」、「積極的な起業・創業の支援」において、新たな産業の創出や誘致、市内事業者の生産性向上や新規事業展開に対する積極的な支援、様々な分野の起業・創業に向けた支援等に取り組みます。
働き方改革や中小企業が自立できるような支援をする必要がある。	2	施策「多様な人材の活躍と柔軟な働き方を実現する人材戦略への支援」において、誰もが働きやすい環境や多様な働き方の構築、イノベーションや付加価値を生み出す人材の確保など、事業者の人材戦略の実現に向けた取組を支援していきます。 また、施策「市内事業者の持続可能性の向上に向けた取組の支援」において、市内事業者の DX をはじめ、業態・事業転換、販路拡大、人材育成等を通じて、各事業者の経営力を高める取組を進めていきます。
製造業や農業の担い手不足の解消に向けた取組が必要である。	2	施策「多様な人材の活躍と柔軟な働き方を実現する人材戦略への支援」において、誰もが働きやすい環境や多様な働き方の構築、イノベーションや付加価値を生み出す人材の確保など、事業者の人材戦略の実現に向けた取組を支援していきます。
週 2 ～ 3 日でも働ける就労継続支援 A 型事業所をつくってほしい。	1	施策「多様な人材の活躍と柔軟な働き方を実現する人材戦略への支援」において、誰もが働きやすい環境や多様な働き方が実現できるよう、様々な支援を検討していきます。

取組目標④ 将来を展望した都市環境の形成を進める

意見等の概要	意見数	豊田市の考え方
意図的に住居を集めるのであれば、持ち家売却や引越しなどに対する支援があると良い。	1	施策「都市部の利便性の高い暮らし環境の充実」において、居住等をコンパクトに集積する都市拠点の形成に向け、様々な支援を検討していきます。

意見等の概要	意見数	豊田市の考え方
駅近くの宅地化や新豊田駅西側など駅を拠点にした再開発をしてほしい。	3	施策「都市部の利便性の高い暮らし環境の充実」において、土地の高度利用を図り、都市拠点への暮らし機能と居住の誘導を推進するとともに、えきちか居住誘導エリアを中心に民間・地域主導のコンパクトな開発による居住を促進するための取組を検討していきます。
新たに山や農地を切り拓く宅地開発は、現実的ではないため、既存の空き家等を活用した取組が必要である。	1	施策「都市部の利便性の高い暮らし環境の充実」において、空き家の活用を含めた多様な世代の新規居住や住み替えに対応した取組を検討していきます。 また、施策「山村部の持続可能な暮らしの仕組みづくり」において、空き家や空き地等の既存ストックを活用した移住や定住を促進していきます。
山村部において、働く場の創出や高校進学時の通学支援など、人口流出に対して取り組んでほしい。	4	施策「積極的な起業・創業の支援施策」、「多様な人材の活躍と柔軟な働き方を実現する人材戦略への支援」、「山村部の持続可能な暮らしの仕組みづくり」において、山村部での働く場の創出や山村部に居住しながらでも働きやすい環境づくりなど多様な働き方の構築に向けて支援します。また、交通に関しては、基幹バスによる拠点間の連携を引き続き強化していくなど、山村部における暮らし機能の維持・確保を図ります。
市民ニーズに合った豊田市駅前の開発を望む。	3	施策「多様な人をひきつける中心市街地の魅力の向上」において、拠点連携型都市の中核として人をひきつける魅力ある中心市街地を形成するために、市民ニーズを踏まえながら取り組みます。

意見等の概要	意見数	豊田市の考え方
若い世代を呼び込むための魅力的な商業施設を誘致してほしい。	2	商業施設の立地については、郊外型の大型商業施設の誘致ではなく、施策「多様な人をひきつける中心市街地の魅力の向上」において、都心地区における商業活性化や回遊性の向上を図ることで、若年層を始め広く人々にとって、住みたい、住み続けたい、関わりたいと思える魅力的なまちづくりに取り組みます。
地球温暖化を鑑み、緑陰や緑地の整備など緑あるまちづくりに取り組んでほしい。	2	近年の気候変動に伴う自然災害の激甚化・頻発化を鑑み、都市における緑やオープンスペースの確保は重要なものであると考えています。都市に潤いや安らぎを与え、まちの持続性を高める「みどり」の適切な確保に向け、公園や緑道などの計画的な整備を進めていきます。
おいでんバスの無料化など移動における利便性を高めてほしい。	2	人口減少が進展する中で、鉄道やバス等の公共交通による人の移動手段の確保はより重要になっていくものと考えています。また、生活を支える地域内の移動については、地域特性に応じた持続可能な移動サービスを実現していく必要があると考えています。今後の社会環境の変化や技術革新の進展等を的確に捉え、多様な移動手段の組み合わせによる効果的な交通の確保に向けて取り組みます。
名古屋へのアクセス性や市内移動における公共交通機関を充実させてほしい。	4	人口減少が進展する中で、鉄道やバス等の公共交通による人の移動手段の確保はより重要になっていくものと考えています。拠点同士が連携する都市構造の実現に向け、円滑な交通の確保に必要な鉄道やバス等の機能強化に取り組みます。
高齢者を含む住民や豊田を訪れる全ての人や車が快適に移動できるようにしてほしい。	2	人生 100 年時代の進展により、移動が困難な高齢者が増加していく中、公共交通を始めとした人の移動手段の確保はより重要になっていくものと考えています。地域特性に応じた持続可能な移動サービスの実現を目指し、鉄道やバス等の公共交通だけでなく、道路も含めた交通ネットワークの強化に向けて取り組みます。

意見等の概要	意見数	豊田市の考え方
自然災害などの緊急時に備えた体制を強化してほしい。	8	施策「地域力発揮による防災力の強化」、「防災・減災を支える基盤づくり」において、災害特性等に応じた情報提供や意識啓発、消防団と自主防災会の連携による新たな取組に加え、地域の防災リーダーの育成等による市の災害対応力の強化に取り組みます。 また、災害時の円滑な救助活動や物資輸送を支える都市施設等の機能向上など、誰もが安心して暮らせるまちをつくります。
地域における自主防災活動の活性化に向けた取組が必要である。	1	施策「地域力発揮による防災力の強化」において、市の災害対応力を強化する中で、消防団や自主防災会の連携による新たな取組や地域の防災リーダーの育成等を通じた地域力発揮による防災活動が促進されるよう取り組みます。

取組目標⑤ 脱炭素社会の実現に挑戦する

意見等の概要	意見数	豊田市の考え方
脱炭素に向けた考え方はどうなっていくのか。再生可能エネルギーの目標値を高く掲げるべきである。	2	本市は、2019年に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050年に市内のCO2排出量実質ゼロを目指すとともに、2030年には中間目標として2013年比CO2排出量半減を掲げています。 目標達成に向けて、施策「脱炭素社会の実現に向けた市民の行動の促進」、「脱炭素社会の実現に向けた事業者の取組の促進」、「脱炭素社会の実現を先導する公共の取組の推進」において、地域社会の持続可能性を高め、良好な環境を次世代に引き継ぐため、国県の動向を踏まえながら、市民・事業者・行政を含めた「オールとよた」で、具体的な行動を進めていきます。

(4) その他

意見等の概要	意見数	豊田市の考え方
人生 100 年時代において、健康づくりや医療など、超高齢社会への対応にも力を入れてほしい。	3	健康づくりや医療に関する取組については、第 8 次豊田市総合計画の重点施策に「超高齢社会への適応」を位置付け、2025 年問題への対応を含め、必要となる仕組みや取組などの整備を進めてきました。今後も引き続き、健康づくりや医療に関する多様な市民ニーズ等を踏まえながら、市民の皆様が安心して暮らしていくために必要な取組を検討していきます。
宿泊や飲食などの経済波及効果を期待し、市の中心部に大規模なテニスコートの整備を望む。	2	テニスコートについては、市民のスポーツ振興のため、地域のバランスも考慮して配置をしています。 大規模なテニスコートの整備については、既存施設の活用状況等を踏まえて必要性を検討していきます。
男性にも HPV ワクチンの助成をしてほしい。	1	健康づくりや医療に関する取組については、第 8 次豊田市総合計画の重点施策に「超高齢社会への適応」を位置付け、2025 年問題への対応を含め、必要となる仕組みや取組などの整備を進めてきました。今後も引き続き、健康づくりや医療に関する多様な市民ニーズ等を踏まえながら、市民の皆様が安心して暮らしていくために必要な取組を検討していきます。
女性の社会参画に関して、性別を限定した会議への参加依頼やイベント参加者の募集に対して違和感がある。	1	まちの活力を保ち続けるためには、性別に関わらず誰もが、暮らしたい・働きたいと思えるまちをつくっていく必要があります。 そのために、引き続き女性の参画機会を促進していくとともに、誰もが活躍できる環境づくりに取り組みます。